

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2022年5月8日
株式会社ラクエモン

介護現場で生じる腰痛を軽減 アシストスーツ「楽衛門」を使用することで 移乗介助も楽になる

介護離職の原因の約半数は腰痛が原因というデータもあり、介護職の腰への負担軽減は、スタッフにとっても、施設側にとっても大きな課題となっています。

そんな介護職の負担軽減に、アシストスーツ「楽衛門」が注目を集めています。



公式 HP : <https://rakuemon.jp/>

楽衛門 Story : <https://rakuemon-story.jp/>

楽衛門チャンネル : <https://www.youtube.com/channel/UC7lm1HrISk8MBCQCXnAx1Rw>

介護に寄り添った設計

介護の現場で働いていた時にヘルニアを患い、4回のヘルニア手術をした本人が、「現場で使えるアシストスーツ」を開発。

従来のアシストスーツといえば「高額、重い、複雑」というネガティブなイメージがありましたが、楽衛門は【介護で使える】に焦点をあて「安価、軽量、簡単」を追求しました。

忙しい介護現場では、装着のしやすさが重要になってくると考えています。

毎回更衣室に行かないといけなかったり、装着に誰かの補助が必要だったりすると、その不便さから使用するスタッフがなくなるだろうと考えたため、その場で10秒で装着できる設計にしました。

また、ショルダーベルトを緩めるだけでアシスト機能のオンオフができるため、装着したまま通常作業ができます。

NEWS RELEASE



介護の活用事例

1日に何人もの介助をすることで、腰への負荷がかかる介護の仕事。より負荷が大きい車椅子移乗、おむつ交換、入浴介助の際にアシストスーツを利用するだけでも、腰への負担を大きく軽減することができます。

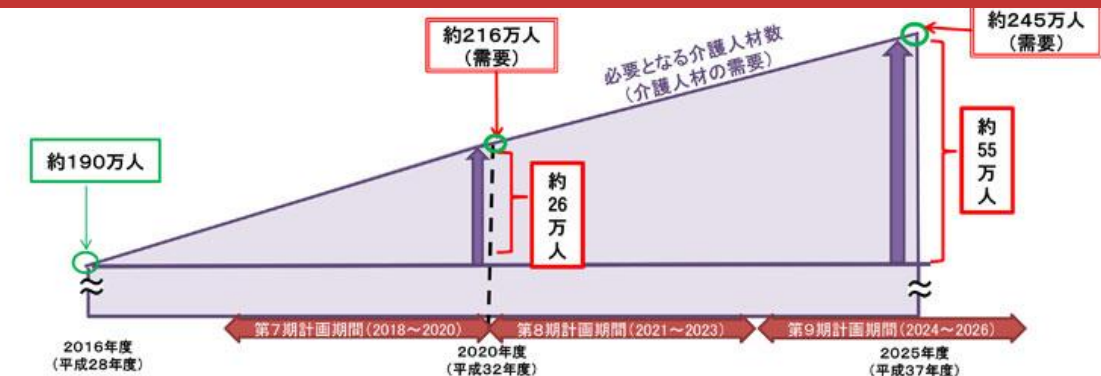
〈現場の声〉

Aさん：アシストスーツが骨盤を支えてくれることで安心感があり、ベッドから車椅子への移乗が楽に感じました。

Bさん：ショルダーベルトを上下に動かすだけで一瞬でアシスト機能の使用や解除ができるので簡単で便利でした。

Cさん：ユニフォームの上から10秒で着用できるので、急いでいるときには本当に助かります。

介護人材の需要



注1) 需要見込み (約216万人・245万人) については、市町村により第7期介護保険事業計画に位置付けられたサービス見込み量 (総合事業を含む) 等に基づく都道府県による推計値を集計したものの。
 注2) 2016年度の約190万人は、「介護サービス施設・事業所調査」の介護職員数 (回収率等による補正後) に、総合事業のうち従前の介護予防訪問介護等に相当するサービスに従事する介護職員数 (推計値: 約6.6万人) を加えたもの。

少子高齢化社会が進む日本の課題として、介護需要が大幅に増加することが予想されており、労働環境の改善、腰痛という労災の防止対策として、アシストスーツの重要性が高まっています。

本プレスリリースに関するお問い合わせ

担当者：杉村 清

Tel : 070-8303-2204 Mail : info@rakuemon.jp